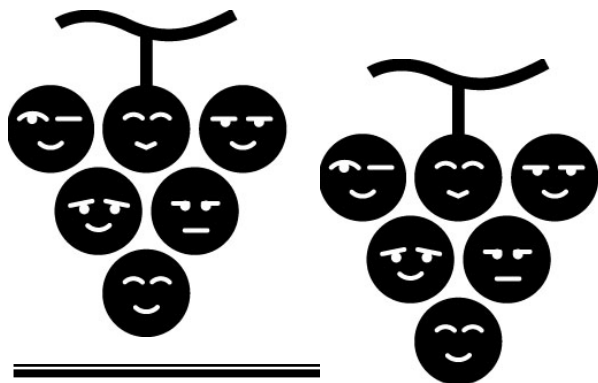


組合活動啓発のため、組合員以外の皆様にもお届けしています。



# マスカット

2011年度 第5号 (2012.01.09 発行)

## 1. 「レクリエーション企画」のご案内

### 【新年会のご案内】

日時：平成24年1月18日（水）19:00～

会場：Water Hills KATAOMOI（かたおもい）

岡山市北区駅前町1-4-125 3F Tel. 086-801-3633

（岡山駅東口からビックカメラ脇の駅前商店街内を東へ50m, 左手）

会費：組合員2,000円 非組合員3,500円

主催：教職員組合

※ご参加下さる方は、1/5付で配付したご案内の下部にある申込用紙を懇話室：高旗のBOXに入れてください（1/13まで）。

### 【観劇補助のご案内】

引き続き、「岡山フィルハーモニック管弦楽団 第39回定期演奏会」の観劇補助を致しております。

日時：平成24年2月19日（日）

会場：岡山シンフォニーホール

補助額：席を問わず一律1,000円

対象：組合員とそのご家族

※恐れ入りますがチケットは各自で入手して下さい。

※必ず領収書をとって頂くようお願い致します。

※後日、その領収書を組合会計担当の尾島委員までお見せ頂ければ補助額をお支払い致します。

※コンサートの詳細は岡山シンフォニーホールの下記URLをご覧ください。

<http://www.okayama-symphonyhall.or.jp/event/20120219.html>

## 2. 連合体からのお知らせ

### 「教職員共済生協、退職者向け説明会」

日時：平成24年2月22日（水）12:00から

会場：組合室（一般教育棟A棟一階東）

対象：57歳以上の方（共済にご関心がある方は、どなたでもご参加いただけます）

連絡先：ODUnion@mb4.seikyou.ne.jp

※参加をご希望の方は、上記連絡先までお申し込みください。

※当日は昼食が用意されます。

### 3. 岡山大学職員組合執行委員会の報告

#### (1) 第4回執行委員会

①日時：2011年11月29日（火）18時から

②場所：岡山大学職員組合事務所（一般教育棟A棟一階東）

組合のホームページアドレス <http://hb4.seikyou.ne.jp/home/ODUnion/>

#### ③主な議題・報告

ア) 国立大学等，岡山大学の情勢報告

イ) 各単組の活動経過報告

ウ) 団体交渉の要求事項（各単組からのものを集約）

・産前休暇を8週に，特休を県並みに，Endnoteの利用を促進する理由を問う，など。

エ) 公務員給与削減法案：通った場合も，それを反映しないように要求する。

オ) 看護師の夜間看護手当について

カ) 非常勤職員・特別契約職員の契約：雇用期限撤廃など

キ) 組合員拡大：チェックオフ協定を検討する。

ク) クリスマス・パーティー：12月13日（火）開催。組合員の紹介で非組合員も割引，など。

ケ) 組合だより：団体交渉（12月）の結果を載せる。

\*その他，全大教「大学・高専の充実を求める署名・アピール」への対応など，いくつかの議題がありました。

#### コ) 連絡事項

・医学部より提案：単組が成り立たないところは連合体に直接加入し，支部制としてはどうか。

→ 政策委員会に検討依頼したが，止まっている。

・H22俸給・期末勤勉手当削減分相当分の使途：質問状を出す。

・Webに公開されている財務諸表・決算報告書のチェック：困難。

・駐車場有料化：黒字をどうするのか → 非常勤職員の無料化，駐車場整備などを提案。

#### (2) 第5回執行委員会

①日時：2011年12月26日（月）18時から

②場所：岡山大学職員組合事務所（一般教育棟A棟一階東）

組合のホームページアドレス <http://hb4.seikyou.ne.jp/home/ODUnion/>

#### ③主な議題

ア) 団体交渉の結果

・近日発行の『組合だより』150号をご覧ください。

イ) 非常勤職員・特別契約職員の契約について

・12/1に意見書を提出済（職種が変わったのに雇用年数を合算するのは非合理）。

・雇用任期撤廃に向けて取り組む。

ウ) 組合員拡大について

・またキャンペーンをする。研修時などにチラシを配布する。

エ) その他

### 4. 気まぐれエッセイ（執行委員の一言）

昨年末，連合体から教員活動評価についての情報提供を求められました。このシステムも始まって数年がたち，何となく慣れさせられてきているような感じがしております。ご存知のように，この活動評価には，教育活動評価の一部に授業評価の結果も若干ではありますが加味されております。果たしてこれが妥当であるのかどうか，システムを変更する際には大いに議論となりました。授業評価をした以上は項目に入れるべきという考え方もあれば，入れることで本来の信頼性のある授業評価がなされなくなるのではという反対意見もあります。システムの運用に慣れてしまうことで，このような問題に対する関心が薄れてしまうことは問題だと思います。公正に運用されているかどうか常に気を配っていききたいものです（桑原）。